

JLL、鹿島建設の米現地法人の集合賃貸住宅開発案件における本邦投資家からのエクイティ調達業務を受託

海外不動産の豊富な知見と実務実績を有するアウトバウンド投資に特化したチームが支援

東京 2025年2月17日 – 総合不動産サービス大手 JLL（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：河西利信）は、鹿島建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：天野裕正 以下 鹿島建設）の米国現地法人 Flournoy Development Group（フロアノイ・ディベロップメント・グループ、以下 FDG）の専任アドバイザーとして、同社が手掛ける米国の集合賃貸住宅開発プロジェクトにおける本邦投資家からのエクイティ調達業務を受託しました。この度、当該業務の第一弾となるフロリダ州オーランドにおけるプロジェクトのエクイティ調達が完了したことをお知らせいたします。

FDG が進める集合賃貸住宅開発プロジェクト「（仮称）Ellison Nona」は、米国フロリダ州オーランド南東部のレイク ノナ（Lake Nona）エリアに、4階建て、総戸数377戸の集合住宅を建設するプロジェクトです。日本企業との協業を検討する FDG に対し、JLL は、日本の投資家のニーズを踏まえたマーケティング戦略の立案、潜在投資家の選定と調整、資料作成、本邦投資家への米国の商習慣や不動産実務に関するアドバイスをを行いました。パートナー企業として、JR 西日本不動産開発株式会社が同社の米国子会社 JRWD USを通じて参画することとなり、本件はFDG と JRWD US での共同投資事業となりました。

JLL キャピタルマーケット事業部 シニアディレクター 把野 秋広は次のように述べています。

「日本企業による海外不動産への投資需要は、コロナ禍で一時的に縮小したものの、再び増加傾向にあります。米国のデベロッパーも日本企業との協業に注目し、関心を示しています。本案件も、双方のニーズが合致したことで実現した開発事業となりました。案件の成功には、言語や商習慣の違い、手続きの複雑さなどから、専門的な知見が不可欠です。JLL 日本は、アウトバウンド投資（海外投資）に特化した専門チームが海外不動産における実務経験、日本の投資家に関する豊富な知見とネットワークを有しています。また、世界各国の JLL の現地チームとの連携で、投資先国の実務や商習慣のアドバイス、現地パートナーのご紹介など包括的にサービスを提供できる体制を整えています。JLL は、世界80カ国で事業展開する専門的な知見を最大限に活用し、今後も国内外の不動産投資ニーズに対応して参ります。」

アウトバウンド投資に関するお問い合わせ先：

JLL キャピタルマーケット事業部

シニアディレクター 把野 秋広 akihiro.hano@jll.com

シニアディレクター 長谷川 尚益 naoki.hasegawa@jll.com

JLL について

JLL（ニューヨーク証券取引所：JLL）は、不動産に関わるすべてのサービスをグローバルに提供する総合不動産サービス会社です。オフィス、リテール、インダストリアル、ホテル、レジデンシャルなど様々な不動産の賃貸借、売買、投資、建設、管理などのサービスを提供しています。

フォーチュン500®に選出されている JLL は、世界80カ国で展開、従業員約110,000名を擁し、2023年の売上高は208億米ドルです。企業目標（Purpose）「Shape the future of real estate for a better world（不動産の未来を拓き、より良い世界へ）」のもと、お客様、従業員、地域社会、そして世界を「明るい未来へ」導くことが JLL の使命です。JLL は、ジョーンズ ラング ラサール インコーポレイテッドの企業呼称及び登録商標です。 jll.com

お問い合わせ：FGS グローバル(JLL 広報代理)

E メール：JLL-TYO@fgsglobal.com 長谷田 (080 9898 5591) 多田 (070 3857 8698)